45 01 09 01 03 001

事務事業評価表

１．基本事項

作成日　令和03年01月20日（水）

事務事業	消防団車両整備管理事業	担当課	警防課	担当係	警防企画係	管理番号	4514
第２次総合計画		事業区分	■ 自治事務	□ 法定受託事務 →	対象拡大 有□ サービス拡充 有□		
行政分野別 計画 大項目	200004 安心とやすらぎを感じられるまち（暮らし・環境）	根拠法令個別計画等	ＮＯｘ・ＰＭ法 埼玉県生活環境保全条例				
中項目	200001 備えができ、安全・安心なまちづくり						
小項目	200002 消防・救急体制の充実						

事業概要	複雑多様化する災害に対応するため、老朽化した消防団車両を順次、最新の消防団車両へ更新することにより、各種災害に対応できる体制を整備するものである。また、災害活動における消防団員の安全確保のため、消防団車両２６台の維持管理並びに車検整備や定期点検を行い、常時運行可能な状態に保つ。
目的 ※何のために	複雑多様化する災害に対応し、災害時被害を軽減するとともに安全を確保するため。
対象 ※誰・何を対象に	消防団車両。
手段 ※どのように	最新の消防団車両への更新、維持管理及び車検整備。 ※車両年次整備計画は令和１１年度まで策定されており、今後も計画どおりに車両更新を実施していく。
成果 ※何を求めるか	各種災害に対応できる体制を整備し、常時運行可能な状態に保つ。
執行体制	■ 市職員　□ 一部委託　□ 全部委託　□ 指定管理　□ 市民ボランティア　□ ＮＰＯ民間団体　□ その他（　　）

事務事業を構成する予算事業

会計区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
一般会計	09	消防費	01	消防費	03	消防施設費	消防団車両購入事業	16,084,850
一般会計	09	消防費	01	消防費	03	消防施設費	消防団車両維持管理事業	2,567,215
	00		00		00			0
	00		00		00			0
	00		00		00			0

本事業の主な業務

・ 消防団車両の更新	・
・ 消防団車両の維持管理	・
・ 車検整備	・
・ 消耗品の購入	・
・	・
・	・

２．事業費（投入コスト）

単位：円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	
年度別計画				第１２分団車両更新	２１分団車両更新	第２０・２５分団車両更新	
事業費	予算（現額）	3,160,000	3,214,000	19,058,000	21,799,000	22,005,000	
	決算額	2,630,252	3,016,912	18,652,065	0	0	
財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	15,200,000	14,000,000	14,000,000	
	他特定財源	0	0	0	0	0	
	一般財源	2,630,252	3,016,912	3,452,065	7,799,000	8,005,000	
人件費	従事職員数（人）	0.75	0.75	0.65	0.85	0.85	
	人件費相当試算 ※１	5,834,250	5,836,500	5,109,650	6,925,800	6,925,800	
		0	0	0	0	0	
（総事業費試算）		8,464,502	8,853,412	23,761,715	28,724,800	28,930,800	

※１　人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

３．評価指標

グラフ表示	区分	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標なし
■	活動指標１	車両更新率	目標値	%	0.00	0.00	1.00	1.00	2.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		車両年次整備計画に基づき目標値を設定							
		更新台数／更新予定台数									
□	活動指標２	維持管理した消防団車両数	目標値	台	26.00	26.00	26.00	26.00	26.00	26.00	□
			実績値		26.00	26.00	26.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		全消防団車両を維持管理するため、消防団車両数が目標値							
		消防団車両数									
■	成果指標１	火災等の災害対応率	目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	□
			実績値		100.00	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		火災等の災害に対し、対応することが消防の責務であるため、目標値は１００％							
		災害対応数／災害数									
□	成果指標２	車両トラブルにより災害に出動できなかった回数	目標値	回	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		各種災害へ出動し、対応することが責務のため、目標値は０とする。							
		災害への出動不能回数									
■	効率指標１	１台あたりに係る管理経費	目標値	千円							■
			実績値		325.56	340.51	913.91	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									
		総事業費／消防団車両数									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									

４．観点別評価　（A：目標値どおり（以上）　B：ほぼ目標値どおり　C：目標未達成　－：目標値の設定がないもの）

活動 （意図した活動を行っているか）	A	目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明 車両年次整備計画に基づき計画的に消防団車両を更新することが出来た。また、法令に基づき車検整備、定期点検を実施することができ、車両不具合に迅速に対応し、常時運行可能な状態を保つことが出来た。
成果 （意図した成果が上がっているか）	A	目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明 車両を常時運行可能な状態を保つことで、各種災害活動における迅速かつ円滑な災害活動を実施することが出来た。
効率性 （効率的に事務を行っているか）		目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明 更新車両及び法定点検車両の増減により、管理経費も変化するため、目標値は設定できない。

評価者	警防企画係長　韮塚　教弘

５．前年度改善改革プラン達成状況

前年度 改善・改革案	複雑多様化する災害に対応できる最新の資機材を装備した消防団車両に更新し、市民生活の安全を確保していくため車両を適正に更新していく。
達成状況 及び その効果	車両年次整備計画のとおり、最新の消防ポンプ自動車を更新することが出来た。また、車検整備、法定点検時に消耗品の交換や職員による点検・整備により消防車両を常時運行可能な状態を維持することが出来た。このことから、各種災害における迅速かつ円滑な災害活動を実施することが出来た。

事務事業評価表

６．所属長評価（今後の方向性）

事務事業	消防団車両整備管理事業	担当課	警防課	担当係	警防企画係	管理番号	4514

- □ ① 現状のまま継続
- □ ② 見直して継続 →
  - □ 委託化等の検討
  - □ 成果向上のための改善
  - □ 効率化のための改善
  - □ 事業規模の縮小
  - □ 他の事務事業と統合
- □ ③ 拡充・重点化（コスト投入）
- □ ④ 目的達成による終了
- □ ⑤ 廃止を検討

評価の内容説明

各種災害に対応する消防団車両が、故障等により機能しなければ、市民生活に甚大な影響を与え、安全安心な暮らせる街づくりが保障されないため、消防団車両の適正な更新、維持管理に努めていかなければならない。このことから現状のまま継続していく。

評価者	次長兼警防課長　髙野　政之

上記を実施するための具体的な取り組み内容は？

７．改善改革プランと今後の課題

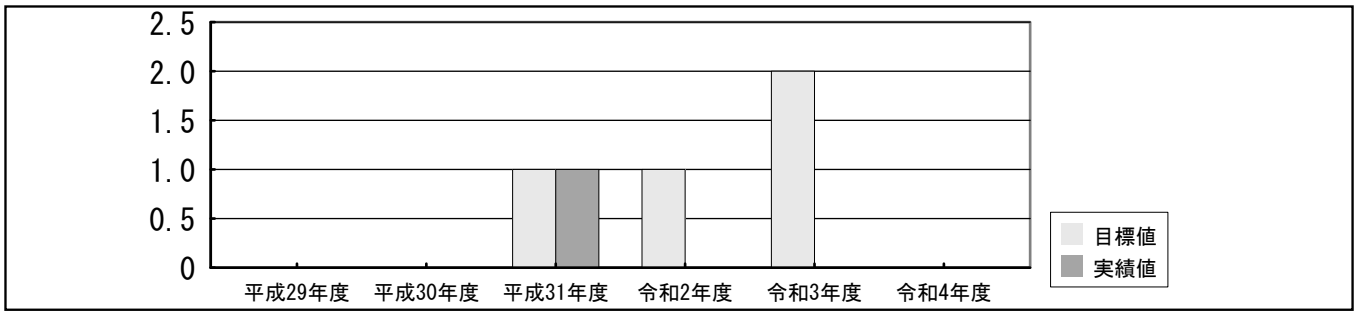
改善・改革案	複雑多様化する災害に対応するために、適正な更新時期に消防団車両を更新。また、保有している消防団車両の維持管理を実施し、迅速かつ円滑な災害活動をすることで、市民生活の安全安心を確保していく。

８．今後の課題(年度別計画等により実施する取り組み等)

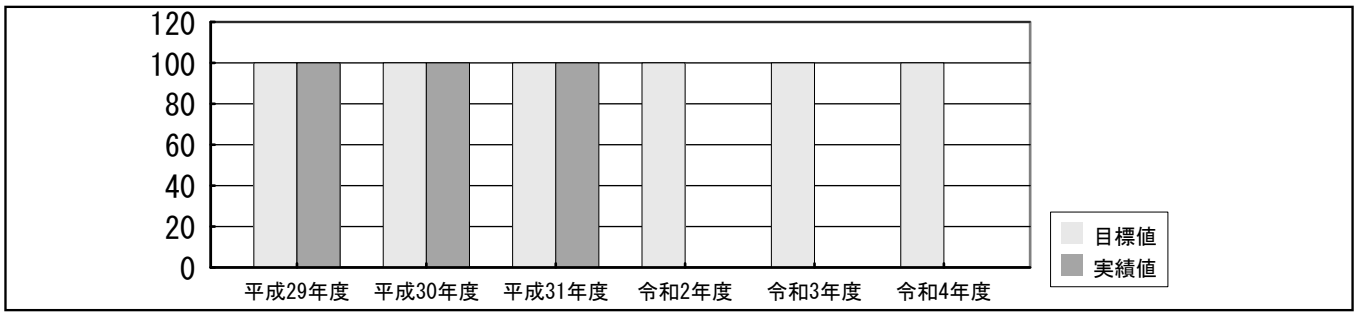
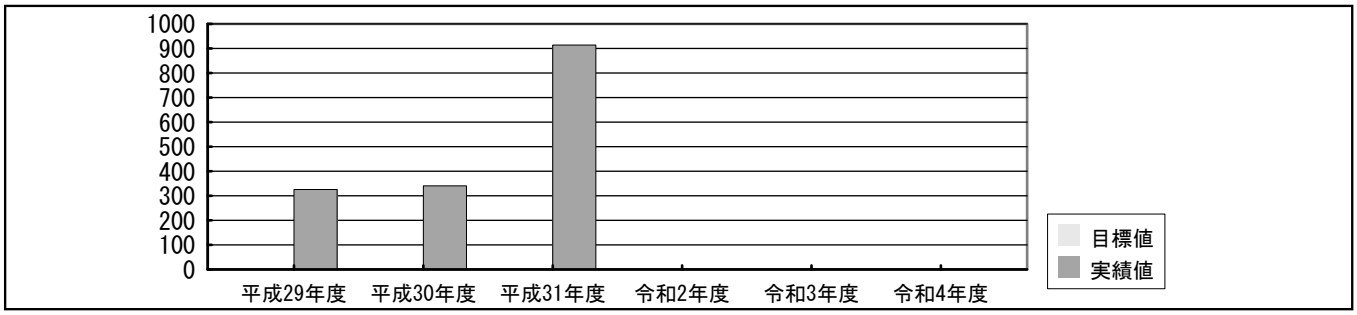
今後の課題	車両年次整備計画のとおり随時消防団車両を更新していくが、突出した財源計画にならないように適切な車両維持管理を行い、複雑多様化する災害が円滑に対応できるように車両更新を行っていく必要がある。

９．評価指標グラフ

区分	活動指標１	指標名	車両更新率



区分	成果指標１	指標名	火災等の災害対応率



区分	効率指標１	指標名	１台あたりに係る管理経費